

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

地域支援だより



平成28年8月26日

第65号

きらりNet

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

本校の訪問教育ではたくさんの人との触れ合いを大事にしています。直接触れ合うだけではなく、普段から学校にいる同学年の友達「朝の会」や「学習の様子」を動画で見たり、iPadのフェイスタイム機能を使って学校にいる友達や教師と通信したりし、学校と「つながる」活動にも取り組んでいます。在宅や病棟で学習している児童生徒が学校の様子に関心をもつだけでなく、学校にいる友達や教師とのお互いのつながりが深まります。



訪問教育の紹介

たくさんの人との触れ合いを感じて
笑顔で応える姿を目指しています

普段は在宅や病棟で学習している児童生徒が学校に登校し、友達や教師と直接触れ合って学習することをスクーリングといいます。スクーリングは、様々な友達や教師とたくさん触れ合うことができる貴重な活動です。1学期は学校で行われた運動会や音楽の学習等に参加しました。たくさんの友達や教師から言葉を掛けられ、満面の笑顔が見られました。

スクーリング(運動会)

始業式 終業式



一人一人のベッドサイドで式を行いました。校長先生からの話を聞き、校歌を歌い、学校の式と同じように進めました。



学校での運動会に参加し、たくさんの声援と拍手をもらいました。

家庭や病棟に担当以外の教師が同行して学習を進めることを同行訪問といいます。今年度も始業式や終業式での校長先生、副校長先生、教頭先生による同行訪問の他、春に行ったミニ運動会においても同行訪問を行いました。担当以外の教師からのあいさつに、笑顔やちょっと緊張した表情で応え、いつもとは違う雰囲気を感じました。

同行訪問(運動会)



ベッドサイドで運動会を行いました。直接手をとってもらいながら一緒に競技を行ったり、拍手と賞賛を受けて賞状を受け取ったりして担当以外の教師と触れ合いました。

注目!

連載 きらりの授業 その③

小学部 1～6年生合同の
自立活動を主とした学習
グループです。

小学部 自立活動「運動」

小学部の自立活動を主とした学習グループでは、2つのグループに分かれて大型教具を用いた運動を行っています。一人一人の児童について運動や姿勢についての目標と、やりたい気持ちを伝えたり、順番を待ち友達とタッチしたりといった関わりについての2つの目標を立て、週2回取り組んでいます。みんな教具の揺れや動きが大好きで、楽しみながらそれぞれの目標に向かって頑張っています。



自分で座り、パラバルーンをつかんで「もっとやりたい」気持ちを伝えます。



トランポリンの上下の揺れに腕に力を入れて頭を上げ、呼び掛けた教師をしっかりと見ます。

ポイント



下から順に 滑り止め→バスタオルをたたんだもの→滑り止め の順に敷き、その上に座ります。膝の下にクッションを入れることでより姿勢が安定します。



バランスボールの左右の揺れを感じて、頭を動かしたり、教師の問いかけに瞬きで応えたりします。

《感覚運動機能の発達》

教育専門監のコーナー

「豊かな認知を育む」

【第Ⅰ段階「支える」】

正しい姿勢を保ったり、一定のペースで動き続けたりする段階です。これらにより、重力のある世界に自分の体を安定して位置付けることができますようになります。

自分の体を「支える」段階では、「見る」「食べる」「呼吸」「手を使う」機能を発達させたり、「触覚」を正常化したり、「覚醒レベル」を安定化したりするなど、様々な感覚運動機能が獲得できます。

【第Ⅱ段階「構える」】

環境からの情報や働き掛けを受け止めたり、効果的に環境に働き掛けたりする段階です。これらにより、安定した自分の体をベースとして、外にある世界と主体的に関わることができるようになります。この時、関節を中間位に保ち衝撃を吸収したり、適度な力を入れたりすることが重要になります。

「構える」段階では、「固有感覚」を活用した「ボディイメージ」や「身体両側の協調性」、「運動企画」などの感覚運動機能が獲得できます。

【第Ⅲ段階「調整する」】

自分が外界へ働き掛けたことによって生じた変化を受けとめ、その変化に合わせて見て調整したり、聞いて調整したり、話しながら行動したりする、働き掛けを調整する段階です。

「調整する」段階では、「目と身体の協調性」や「試行錯誤する力」「耳と動きの協調性」、「ことばによる行動の調整」などの感覚運動機能が獲得できます。【参考文献:「支援教育だより PART4」香川県立高松養護学校(2007)】

《認知を育む授業づくりⅡ》

本校では、各学部の自立活動の時間の指導において「運動」の学習を行っています。個々の教育的ニーズに応じ、様々な感覚運動を行うことで《支える⇒構える⇒調整する》力を育てています。個々の発達に応じて段階的な指導を行うことは大切なことですが、一人一人の「支える」、「構える」、「調整する」の全体像を捉え、あらゆる場面で指導を進めています。特に「運動」における発達段階に応じた「見る」「食べる」「呼吸」「手を使う」機能の活用や、「固有感覚」を活用した「ボディイメージ」の形成、そして「目と身体の協調性」に向けた指導は、まさに自立活動の目標にある「もって調和的発達の基盤を培う。」指導となっています。日々の体を動かす指導は生活のリズムを整える学習となっています。

文責：二階堂悟

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。

教頭 伊藤 敏博 地域支援部 佐藤 忠浩

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢 3 番 127

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018 (889) 8573 FAX：018 (889) 8575

「きらり Net」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>

